

内部障害

慢性的な呼吸器疾患、心臓や腎臓などの内臓や免疫の機能障害により、長期間にわたって日常生活が制限される状態で、治療や日常生活の制限が必要となります。

主な疾患としてはてんかん、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー疾患、悪性新生物（がん）、慢性腎疾患、糖尿病などがあります。症状は一人一人違うため、医師の判断等を基に修学環境の調整をどこまで可能とするのか、建設的対話が必要となります。

主な困難	支援例
定期的な通院が必要	<ul style="list-style-type: none">履修登録時の相談・アドバイス通院等に係る欠席の取扱い欠席した授業の資料の提供
移動に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">必要な場合は遅刻や途中入室を認める使用教室の配慮車椅子等による移動支援
運動制限がある	<ul style="list-style-type: none">参加できない実技等への調整や代替措置の実施
急な体調不良や発作が起こる可能性がある	<ul style="list-style-type: none">授業中の中途入退室の許可発作時の対応マニュアルを事前に作成し、関係者間で共有する
急に服薬が必要になる	<ul style="list-style-type: none">授業中や試験中の服薬を認める

